

<解釈>

妹ができたピーターは、両親の注意が妹にばかり注がれているので、自分にかまってもらえるように、さまざまな行動に出る。積み木をいっぺんにぶっこわしたり、ペンキ塗りを手伝わなかったり、大声をあげたり、家出をしたり。

展開の核は、ちっちゃいときにすわったいすにおしりが入らないとわかったとき。思っている以上に、自分が成長していることから、成長のギャップに気づく。大きくなりすぎた自分がどうすればいいのか、未知の事柄を解決するための「いいこと」を考える。「いいこと」とは、これから起こる出来事に対して、今までの行動とは少し違う行動に変化させることで、成長のギャップを埋めていくこと。聞こえないふりをしたり、いつものわかりやすい場所にかくれていなかったり、いつもはすわらない「おとなのいす」にすわったり。そして、最後、おとうさんがそばにすわったとき、「スージーのためにピンクにぬろうよ」と言う。今までは目的が「ぼくのもの」かどうかだったのが、目的を「妹」に変化させることで、成長のギャップを埋める、ピーターの葛藤と成長の物語。

<大問題>

ピーターが「スージーのためにピンクにぬろうよ」と言ったのはなぜか。

→成長のギャップを埋めるため、「いいこと」（行動を変化させること）を考えたから。

「おとうさん、あの ちっちな いす、スージーの ために ピンクに ぬろうよ。」

あの…話し手も聞き手もすでに知っている人や事柄をさしている。

ために…目的を表す。

よ…判断・主張・感情などを強めて相手に知らせたり言い聞かせたりする意を表す。

<小問題>

4・積み木のビルをいっぺんにぶっこわしたのはなぜか？

→幼いから。気づいて欲しいから。

8・「大ごえをあげた」のはなぜか？

→幼いから。気づいて欲しいから。

10・赤ちゃんのときの写真をもっていくのはなぜか？

→幼いから。スージーを見て、自分も同じだと思いたいから。

14・ピーターはいすに座れると思っていたか？

→思っていた。【ところが】

15・「大きくなりすぎていたんだ」と「大きくなっていた」のちがいは？

→「すぎる：普通の水準を越す」ということは、自分で思っている範囲を超えて大きくなったということ。思っている以上に、予想以上に大きくなっている。

・自分の思っている成長と実際の成長のギャップから気づくことはなにか？

→体の成長い合わない、行動の幼さ

17・「きこえないふり」をしたのはなぜか？

→今までなら返事をしていた。【しかし】行動を変えた。

・行動の幼さを解決するための「いいこと」とはどんなことか？

→今までとっていた行動とは違う行動をとること。

・18からピーターはどんなことをしたのか？

→「いいこと」につなげる。

<成長曲線>

